

緊急地震速報提供サービス

KURUZEYO

地震発生と同時に発信、地震が到達までに安全確保!

- 警報の自動発信
- 館内で自動放送
- サイレン・表示板の自動作動
- 携帯電話に一斉発信

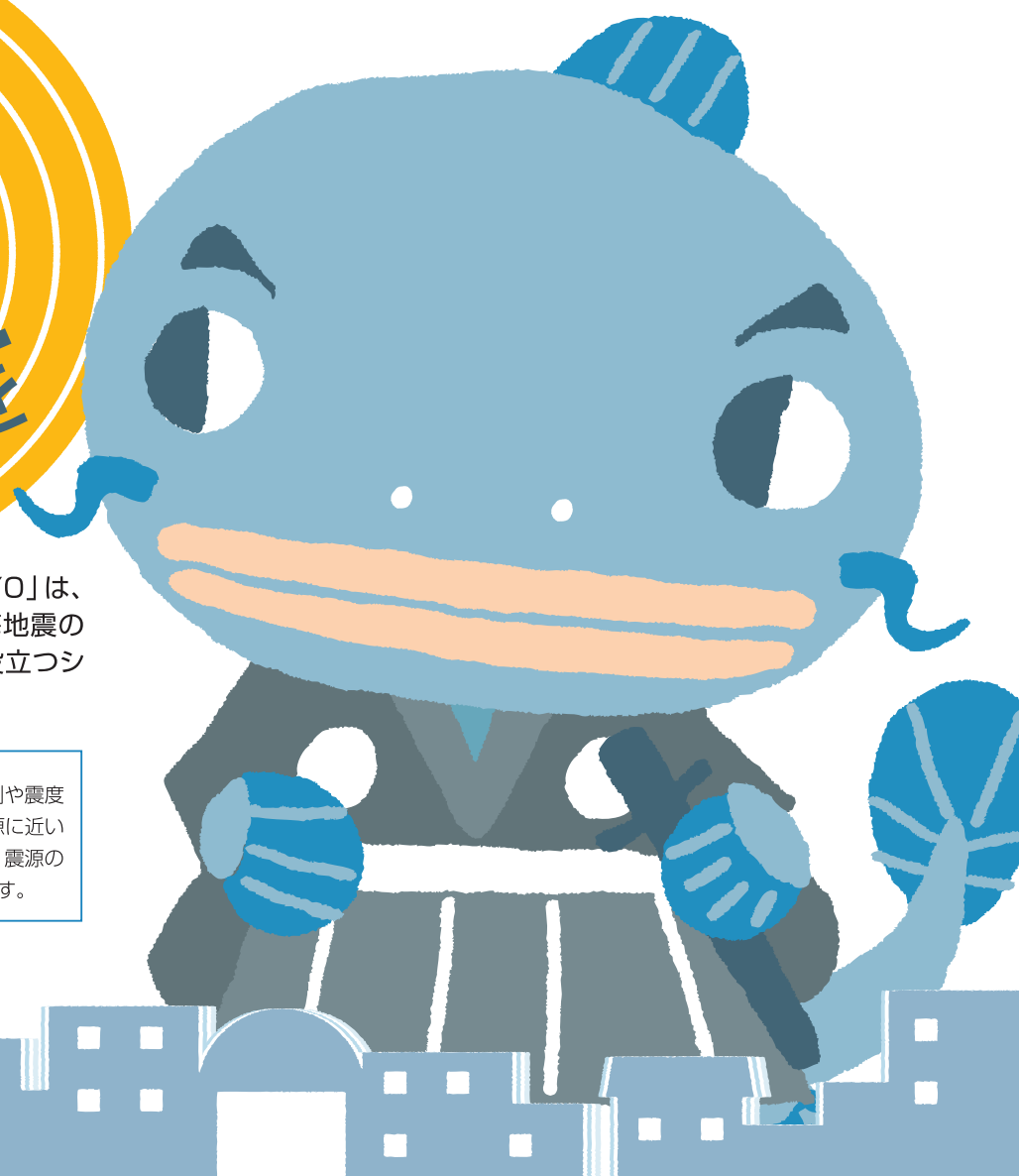
*他ネットワークシステムとの連動が必要な場合があります。



防災・減災に役立つ!

緊急地震速報提供サービス「KURUZEYO」は、近い将来必ず起こると言われている南海地震の被害から企業活動を守り、防災・減災に役立つシステムです。

緊急地震速報とは…
地震の発生直後、気象庁が各地での主要動の到達時刻や震度を推定し、可能な限り素早く知らせる情報のこと。震源に近い地震計でとらえた地震波のデータを解析するとともに、震源の位置や地震の規模(マグニチュード)を直ちに計算します。



ソフテックの24時間・緊急地震速報提供サービス

KURUZEYO 導入までの流れ



STEP 1 ご検討

- ご紹介** 「KURUZEYO」サービスのご紹介
- ヒアリング** お客様がお考えの「KURUZEYO」利用方法についてヒアリング (例:構内放送と連携したい等)
- デモ** 実機でのデモ実施
- ご提案** 細かいところまでお話を伺い、具体的な内容をご提案致します (ネットワーク環境の確認等を行います)
- お見積り** お見積もりを作成

STEP 2 申込み・導入

- ご契約** ご契約を結ばせていただきます
- 導入・設置** 必要な機器、ネットワークなどを導入・設置致します
- テスト** 「KURUZEYO」の連携テストを実施

STEP 3 サービス開始

- サービス実施** 「KURUZEYO」サービスの開始
避難訓練・マニュアルづくりなど防災体制の整備をお願い致します

一般企業から学校、病院まで 設置先は続々増えています!

- オフィス**
 - 社員の安全確保
 - 正しい情報伝達と誘導・避難
 - 企業活動の継続
- 工場**
 - 危険作業への通知
 - 作業の一時中断、ミス回避
 - 生産ライン等の制御・点検
- 店舗**
 - 顧客・スタッフの安全確保
 - 正しい情報伝達と誘導・避難
 - 商品の損害回避
- 病院・福祉施設**
 - 患者・職員の安全確保
 - 正しい情報伝達と誘導・避難
 - 作業の一時中断、ミス回避
- 学校・幼稚園・保育園**
 - 生徒・児童・園児の安全確保
 - 正しい情報伝達と誘導・避難

Softec
Software Technology 株式会社ソフテック システム営業部

〒783-0060 高知県南国市堂が丘1-4 高知富士通テクノポート
TEL/088-880-8877 FAX/088-880-8866
WEB SITE/http://www.softec-inc.co.jp/

「推定震度」や「到着予測時間」などを、

KURUZEYO がいち早くお知らせします!

ソフテックの「KURUZEYO」は、強い揺れが来る前に地震の発生をお知らせする「高度利用者向けの24時間・緊急地震速報提供サービス」です。

放送設備や警報ユニットを通じ、音声ガイダンスを流すこともできます



地震波をリアルタイム表示

「KURUZEYO」と「一般利用者向け緊急地震速報」との違いは?

気象庁の緊急地震速報には「一般利用者向け」と「高度利用者向け」がありますが、「KURUZEYO」は「高度利用者向け緊急地震速報」を配信します。

	KURUZEYO 高度利用者向け緊急地震速報	一般利用者向け緊急地震速報 テレビ、ラジオ、防災放送、携帯電話などで発表される情報
全国どこでもご希望の地点の「推定震度」や「到着予測時間」など、到達時刻の予測値を知ることができます。	○	×
24時間体制で情報をお知らせすることができます	○	×

※一般向けでは、広域エリアでの震度測定のみ発信
※一般向けでは、テレビやラジオなどの電源を入れている場合のみ受信

津波の情報もお届けします。

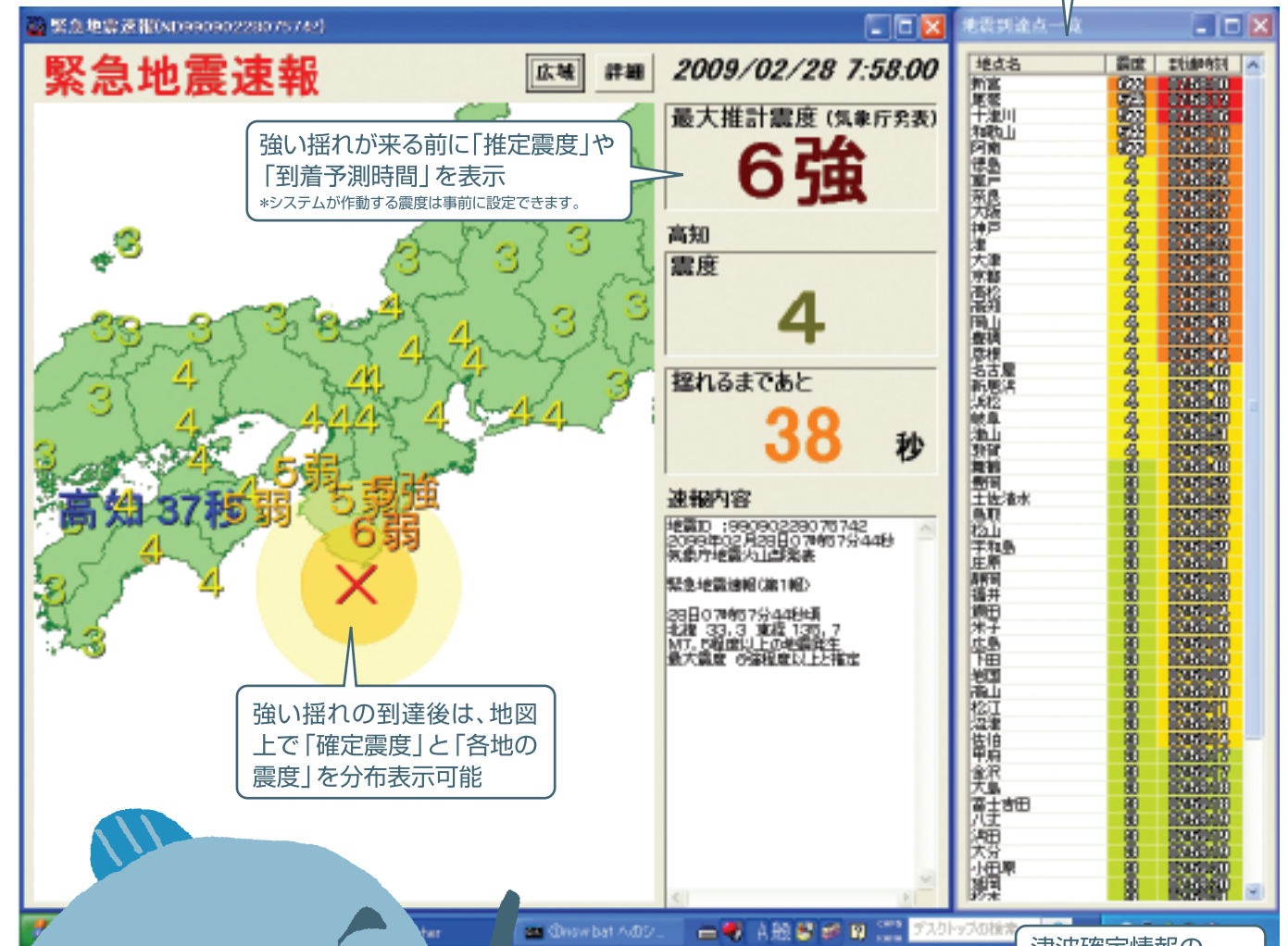
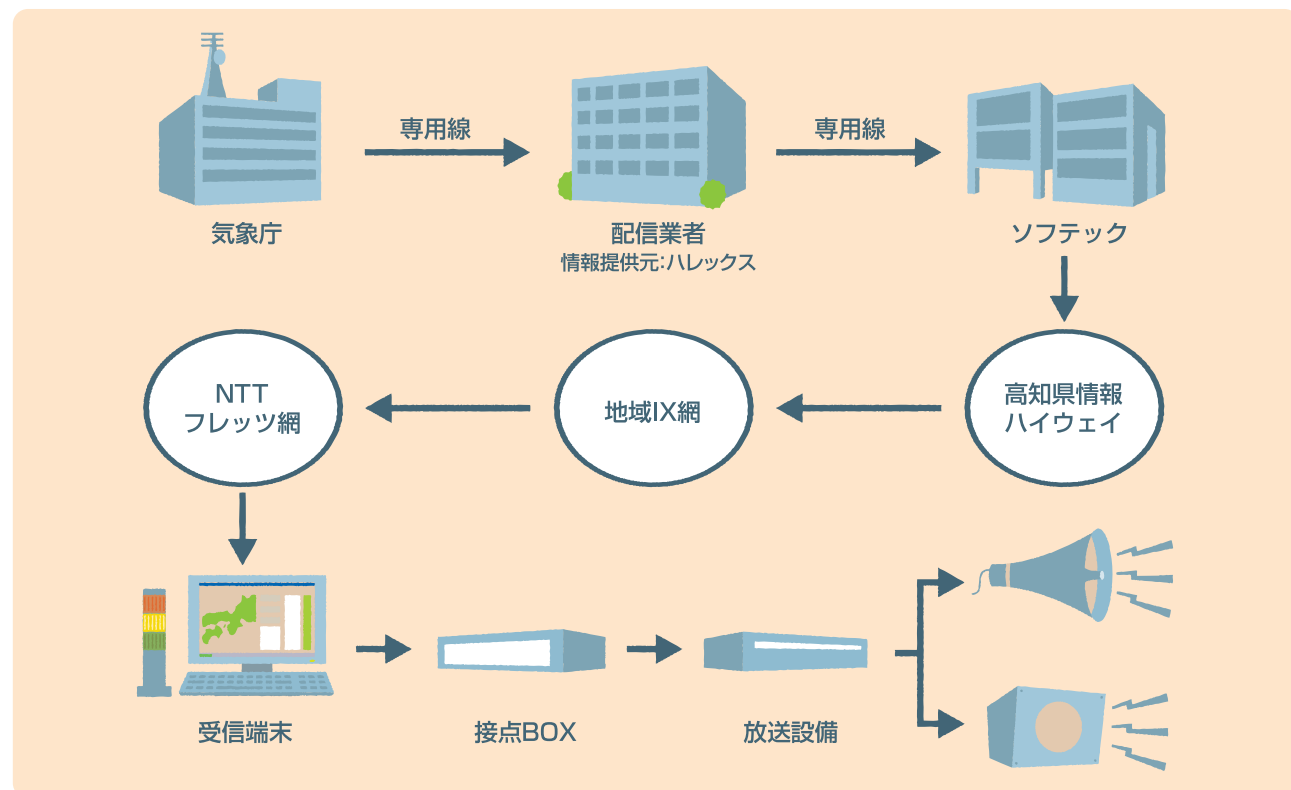
高知県では過去甚大な被害を及ぼしてきた津波。「KURUZEYO」は津波情報配信も併せて提供致します。

機器ヘルスチェック(死活監視)サービス

いざというときに速報を受信する端末機器が故障していたではすまされません。「KURUZEYO」では24時間センター側からお客様の受信端末のヘルスチェックを行います。

KURUZEYOを使ったネットワークシステムの一例

「KURUZEYO」と連動させ、さまざまなネットワークを構築すれば、より迅速で高度な緊急地震速報システムが実現します。



※ご注意/緊急地震速報を適切に活用するためには、下記のような特性や限界を十分に理解する必要があります。

- 情報を発表してから主要動が到達するまでの時間が極めて短い。震源に近い場所では情報が間に合わないことがあります。
- ごく短時間のデータだけを使った情報であることから、予測された震度に誤差を伴うなど限界もあります。

